

カプテンコート M 暗褐色S・R

一般名称	耐候性鋼材さび安定化処理剤					
適用規格	—					
系統	エポキシエステル樹脂塗料					
主な用途	耐候性鋼材さび安定化処理 など					
適用素材	鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート	※ 耐候性鋼材 専用
	可※	×	×	×	×	

- 特長
- 1) 1コートタイプの耐候性鋼材さび安定化処理剤
 - 2) 初期のさびの流出を抑制し、周囲汚染を防止します。
 - 3) 耐候性鋼のさび安定化処理剤。
 - 4) 鉛・クロムなど重金属を含有しない塗料である。

塗料性状	塗料密度(比重)	1.22(S)
	溶剤密度(比重)	0.86
	加熱残分	51%(S)
法令など	一液	
劇物表示 (品名・含有率)	—	
労安法上の 表示有害物	キシレン、トルエン ブチルセロソルブ、1-ブタノール メチルイソブチルケトン、メチルエチルケトン エチルベンゼン	
使用有機 溶剤種別	第2種有機溶剤等	
消防法による 危険物区分	第1石油類(非水溶性)	
硬化剤の成分 による区分	—	
ホルムアルデヒド 放散等級	—	
製品情報	一液	
荷姿	15kg	
混合比(重量比)	—	
主な色(色相)	ダークブラウン(S)、ブラウン(R)	

- 素地調整
- 被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。
 - 水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。
 - 詳細は塗装仕様書を参照ください。

使用方法	調合方法	オートマゼールなどの動力攪拌機を用いて、十分ほぐしたのち使用する。
	熟成時間	不要
	使用シンナー	カプテンコート用シンナー
	希釈率(重量比)	エアレス: 0~30wt% ハケ・ローラー: 0~10wt%
	エアレススプレー 塗装条件	2次圧 : 10~15MPa(100~150kg/cm ²)以上 チップNo. : 163-515~617

(日本グレイ社製)

カプテンコート M 暗褐色S・R

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー塗り	45	200	430
ハケ・ローラー塗り	22.5	100	150

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

項目		5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	
乾燥時間	指触	1時間	1時間	30分	20分	20分	
	半硬化	6時間	6時間	3.5時間	3時間	3時間	
標準塗装間隔 注)	最短	8時間	7時間	6時間	5時間	5時間	
	最長	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	
可使時間		—	—	—	—	—	

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: —

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 強溶剤: —

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 短時間 200℃耐用、長時間 100℃耐用

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

施工管理 用特数値

希釈率(wt%)	SVR(%)	WET/DRY係数
0	30.5	3.3
10	26.7	3.7
30	21.4	4.7

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報

- 安全情報に関する詳細な内容は製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- 容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
- 塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件

本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の 注意事項

- 1)素地調整は原則としてブラスト処理(ISO Sa2.5以上)を行うこと。
- 2)もどりさびが発生している場合には、再ブラストを行うか、電動工具により、完全に除錆処理を行ってください。
- 3)素地が結露するような条件下では使用しないこと。また、霧の発生した日は被塗面の乾燥を十分に確認した上で行うこと。
- 4)希釈用、機具洗浄用シンナーは、専用シンナーを使用すること。
- 5)その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、MSDS(製品安全データシート)を参照してください。